



国際ロータリー第2540地区

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

10月
2025 / vol.4

ロータリー特別月間●10月

「地域社会の経済発展月間」と「米山月間」

目次

- 2 ガバナーメッセージ
- 3～4 インターアクト年次大会
- 5 RLIラーニング・セミナー
- 6 全国危機管理委員長会議
- 7～9 ガバナーエレクトラーニングセミナー
- 10～17 ガバナー公式訪問報告書
- 18 新会員紹介
- 19 パストガバナーメッセージ
- 20～21 週報抜粋
- 22 会員数

Rotary 
第2540地区

よいことのために
手を取り合おう

2025-26年度 ガバナー
桑山 明久

2025-26年度 国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツォ



国際ロータリー第2540地区
2025-2026年度ガバナー
桑山 明久
(本荘ロータリークラブ)

ロータリアンの皆さまこんにちは、暑さも和らぎ過ごしやすい日々を迎えました。気候については、一息気を緩めても良い時期となりました。しかしそれも束の間、頃には鳥海山に雪が降り、雨前線が支配者となる長雨の季節が到来します。秋田に長く住む者には覚悟の出来ている毎年のことですが、初めて秋田の冬を過ごす方にとっては長い試練の季節かも知れません。必ず訪れる春を待ちましょう。だから冬も楽しく、福の時となして過ごしましょう。中秋から晩秋にかけて心地よい晴天の日には、美しい紅葉を楽しみ冬を迎えるエネルギーとしましょう。

さて10月は「地域社会の経済発展月間」と「米山月間」です。経済については全く疎い私ですが、米の値段が嘗てなく値上がりしていることは、秋田の基幹産業である農業にとってうれしい事だと感じています。私は買う立場ですが、秋田が元気になれば嬉しいのです。以前、大学の医局を出て地域の病院に赴任した年に、混み合っていた外来がパタッと人が減り、3～4週間閑散とした時があり、理由を尋ねたら、稲刈りで忙しく医者に来るヒマがないのでしょうと言われたことがありました。稲刈りが終われば湯治に行くこともこの時知りました。「湯治さ行く」この言葉に安堵と収穫の喜びを感じ取りました。最近ふと気がつくと、近隣の湯治場となっていた温泉宿が次々となくなっていました。理由はいろいろあると思います。その一つに農作業が機械化されて、重労働から解放されたことがあるのかも知れません。農業が健康的な作業であり、割に合う儲かる産業に発展して行くことを願いたいと思います。勝平得之が版画に残してくれた、ついこの前のような秋田の農村風景からはノスタルジアを感じさせられます。しかしノスタルジアは心の中に残し、社会から求められる産業として、生き残り 発展して行くためには技術の更新 時代に合わせた革新が常に必要だと思います。

我らがロータリーにも同じことが求められています。前RI会長エレクト、マリオさんが私たちに残してくれたメッセージ「よいことのために手を取り合おう」と2017年に出されたビジョン声明「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な変化を生むために人びとが手を取り合って、行動する世界を目指しています。」今私たちはよいことをする、行動人になることが求められています。クラブの中で手を取り合うことが求められています。そのためにクラブで3年間の行動計画を策定し、クラブセントラルに登録することが求められています。11月に2回目のクラブサポートミーティングを予定しています。宜しくお願いいたします。

最後に10月25、26日の地区大会に大勢のロータリアンが参加されることをお願いいたします。

第55回インターアクト年次大会・ 指導者講習会開催報告

インターアクト委員会委員長 黒 丸 雄 平

8月23日よこてシャイニーパレスに於いて平成高等学校インターアクトクラブをホスト校として第55回インターアクト年次大会が開催されました。コロナ禍の影響もあり、当地区では6年ぶりの開催となりました。全クラブ参加とはならず、平成高等学校と角館高等学校の2クラブ19名のインターアクターが集結しました。

開会式は米山奨学生5名と秋田ローターアクトクラブ飯牟禮会長にもご参加いただき、平成高等学校インターアクトクラブの進行で滞りなく執り行いました。その後桑山明久ガバナーから『ロータリーの理念と青少年への期待』と題し講演をいただき、インターアクトクラブとロータリーとの関係性や活動について改めて学ぶことが出来たのではないのでしょうか。



今年は活動報告をやめ、RYLAセミナーを開催することにしました。株式会社このほし 代表取締役 小原 祥嵩さんを講師に迎え、「人が集う街づくりをデザイン思考で考えよう!」のテーマのもと、横手市生涯学習館 Ao-nA「あおーな」を見学し、まちづくりについてグループディスカッションしました。他クラブのインターアク



ーや米山奨学生ローターアクターとの交流の機会にもなったと思います。RYLA委員会のご協力に感謝申し上げます。(なおRYLAの詳細な報告は別途委員会から。)

施設見学同時に開催された指導者講習会では、地葉危機管理委員長、佐野青少年奉仕委員長のほか2校からは3名の顧問の先生方、角館RC、大館南RC、横手RCからはクラブ会長、インターアクト並びに青少年奉仕担当が参加しインターアクト活動と学校現場の現状、今後の活動の進め方について話し合うことが出来ました。コロナによる交流の停滞は学校とRCとの距離を想像以上に遠ざけ、昨今の生徒数の激減、課外活動の縮小など問題は山積でした。次回開催地を決定することが出来な

かったのは残念でしたが、話し合いを
続けていくことで一致しました。

今回、諸般の事情から日程の確定、
調整がうまくいかず2校での開催となっ
てしまいました。一旦途切れた大会を
再開することの大変さを改めて感じた
しだいです。第56回インターアクト年
次大会は必ず開催できるよう、引き続
き学校、推奨クラブとの連携を図って
いきたいと思います。

最後に、今大会を開催するにあたり
主管いただいた平成高校インターアクトクラブと提唱クラブの横手RCの皆さん、ご協力いただいた地
区青少年奉仕委員会、RYLA委員会、米山記念奨学委員会、財団ポリオプラス委員会、危機管理委
員会の皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。



RLIラーニング・セミナーPARTI 開催報告書

RLI 委員長 桑 原 透（秋田RC）

2025年9月7日（日）9時20分から秋田テルサにて、今年度 RLIラーニング・セミナー PARTIを28名（当日1名欠席の為）が参加して開催しました。

当地区において地区単独開催4年目を迎え、PARTIから PARTIIIまでを9月、11月、翌年3月に開催しますが、その第1弾として開催しました。

ファシリテーター 12 名により、セッション1～6を各セッション50分で6時限にわたって受講いただき、無事28名全員が PARTIを修了することが出来ました。

開会式では、桑山明久ガバナーの挨拶と、委員会から当日の流れの説明を行なった後で、早速6会場に分かれて各セッションに取り組んでいただきました。

ロータリー歴の長短に関わらず、知っていることや知らないことを各人が実感して、自分が所属するクラブが実践していることやしていないこと、新しく変化するロータリーについて気づきを得る機会になったと拝察いたします。

加えて、他クラブの会員と名刺交換や意見交換するなかで、より良い交流が出来たと思います。

受講くださった皆様には、丸一日の受講で大変お疲れのことと存じますが、当日記してくださった評価書での感想では概ね充実して楽しかったとのことのお答えで、ファシリテーターも安堵した次第です。

この後も、PARTIIを11/16に、PARTIIIを翌年3/15に開催いたします。

受講者の皆様がより楽しく充実したセミナーであったと感じてもらえるよう、各回の開催前にファシリテーターの養成研修を行なって準備を万全に整えています。

RLI ラーニング・セミナーを受講することによって、ロータリーを知るクラブ会員が増え、自分たちのクラブを今以上に明るく楽しく活性化しながら、結果として会員維持やより強いクラブづくりが出来るものと信じて、おひとりでも多くのクラブ会員へ受講をご推奨くださるよう、クラブ会長の皆様のお力添えを強くお願いいたします。

当地区が多くの個性溢れるクラブやロータリアンで満ち、ロータリーの目的に沿って地区内全クラブが地域に貢献し続けるためにも、RLI を是非ご活用ください。

第14回 全国危機管理委員長会議 参加報告書

2540地区2025-2025年度 地区危機感栄委員長

地 葉 新 司（渦上ロータリークラブ PDG）

2025年10月5日(日)、AP 東京八重洲ビル13階 A ルームで開催された表記委員会に出席いたしましたので、ご報告いたします。

出席者は各地区の地区危機委員長、ガバナー、ガバナーノミニー、RIJYEM の副理事長や研修専門委員など多数が出席し、また Zoom 参加者も多数おられました。13:00～16:00の3時間開催されました。

RIJYEM（国際ロータリー日本青少年他地区合同機構）の片山副理事長様の開会あいさつで始まり、続いて「無意識のバイアス」と称してスライドによる様々な事例が紹介された。

続いて、ロータリー米山記念奨学会の滝澤副理事長様のR米山記念奨学会と危機管理と題する講演が行われ、さらに事務局より「青少年向けハラスメント被害対応」が紹介された。

休憩の後、参加者のグループごと、それと Zoom 参加者のグループごとに、グループ討議が行われ、終了後各グループから討議の内容が発表された。

グループ討議の結果では、

1. 例会出席などで、米山奨学生の送迎で、奨学生を車に同乗させる場合、運転者は
 - ① クラブ会長から支持をもらうこと
 - ② 自動車運転手の左側に乗せず、後部座席にのせること
 - ③ 大学の門前など、ほかの学生の目につくところでは降車させない
2. 奨学生を家に食事に誘う場合、
 - ① 一人ではなく他の奨学生、あるいは同級生を同伴させること
 - ② クラブ会長の指示あるいは同意の下におこなうこと
3. 地区行事やクラブの行事で飲食を伴う席に奨学生を同席させ、ビールや酒などのアルコール類を提供する場合は、必ず本人の了解（時には、親の了解）を得てから提供し、決して強要しないこと
4. カウンセラーが奨学生とラインをするのは止めたほうがよい
ラインのやり取りは全部残っているので証拠となり、ラインは危険性がある。写真の掲載なども危険性があるので、その都度、了解をとること。
5. 地区大会に参加する場合、参加方法（自動車、電車など）を確認すること。
6. ローターアクトや交換留学生は未成年者の場合もあり、地区行事への参加は保護者の承諾をとっておくことが望ましい。
7. 各行事出席者の飲酒も本人並びに（両）親の承諾を得ておくことが望ましい。

等々が発表されました。

第1回 ガバナーエレクト ラーニングセミナーに参加して

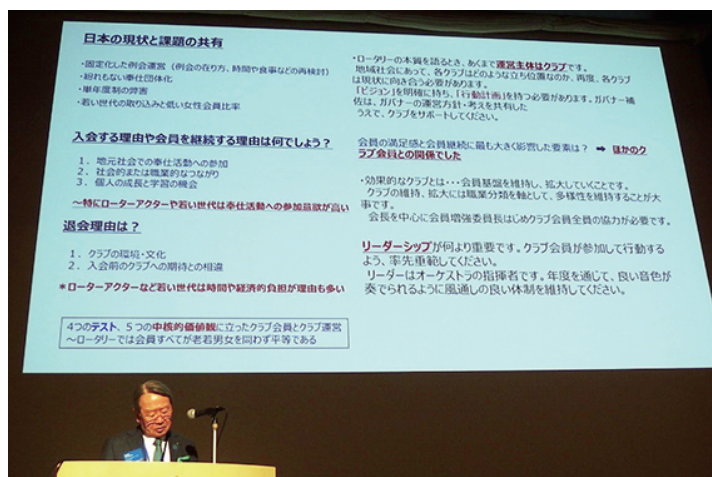
GE 土 館 守

2025年9月8－9日、パシフィコ横浜にて行われました、GELS#1に行ってきました。

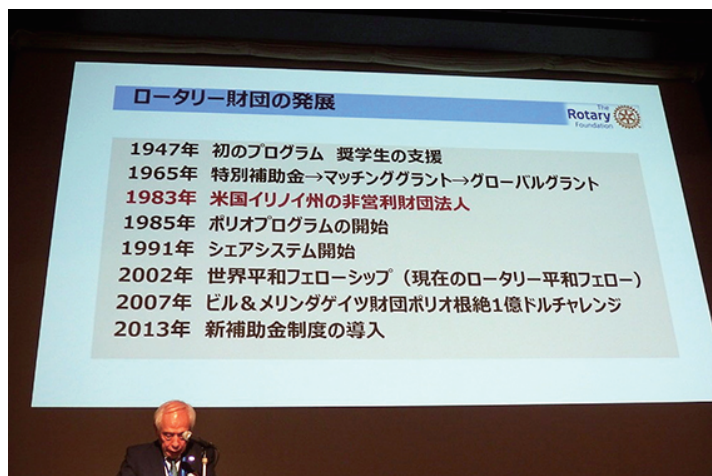
パシフィコ横浜は、国際会議場で、ホテルも隣接し、巨大な施設です。さすが、ロータリーのステータス。当日は、34地区のエレクトとパートナーが55名ほど参加して、さらに国際ロータリーの役員、日本事務局の職員、ガバナー会職員、一般ファシリテーター、コーディネーターなど、50人以上のスタッフが集結して、支援に当たっていました。それだけ、この研修が重要であるかがうかがわれます。



RI理事、水野功様、RI財団委員、辰野克彦様の挨拶の後、「国際ロータリーや日本のロータリーの現状」「ロータリー財団の現状」などの講演があり、午前の部は終了いたしました。



午後はラーニング形式の討論が3つあり、それぞれ75分ほどでしたが、11地区ずつのグループ分けなので時間が足りないくらいです。また、後ろに10人くらいのファシリテーターやコーディネーターが聞いており、同じ地区から選出されたエレクトは、喋りづらかったみたいです。その点第2540地区は誰もいないので、気は楽でしたが、少し寂しかったです。



夜はお楽しみ懇親会、私の席はテーブルAで、RI財団委員の辰野克彦様の隣。お年



を伺いましたら、もうすぐ84歳との事で、私と10歳違いですが、まだまだ元気でした。世界を股にかけ、活躍される意欲に、敬服を感じました。カンツォーネなどを歌って、大いに盛り上がったので、2次会にも付いて行き、ついつい深酒をしてしまいました。

翌日の研修は、2日酔いと先週からの風邪の影響で、頭がグラグラ。午前中の講義を睡魔と闘いながら必死に聞いてました。何しろ最前列、演台前の席なので目立ちます。

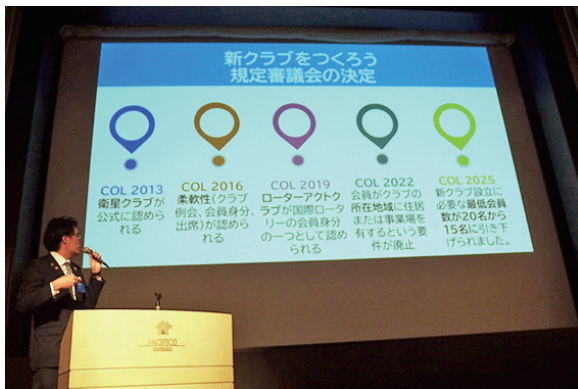
10時半から、ラーニング研修が4本あり、その中で、地区補助金を使った実例として、当地区の「ニューギニア、ビアク島の小学校に、机と椅子を寄贈した例」を紹介したところ、メンバーから、大いに関心をもたれました。また、会員増強では、当地区が、危機的状況にあるため、特に集中的に当てられ、最後には、地区維持のための決意表明までさせられました。

休憩時間では、エレクト仲間で、地区大会の話で盛り上がりました。各地区とも会場のホテル代の高騰により、苦勞してます。また体育館や競輪場を借り上げて開催する場合は、ステージなどの設営費用が、思ったより高くなり、第2820地区茨城県では、地区大会で700万円の赤字になったそうです。また、経費削減の為、10地区ほど、RI会長代理を呼ばない事に決めたそうです。なお、滝沢RIラーニングファシリテーターより「今年の規定審議会で、地区大会を毎年やらなくてもよくなったのは、地区の中には、複数国、複数言語にまたがっている地区があり、毎年開催するのは負担が大きいから休んでも良いという事で、日本の34地区は該当しない」との指摘がありました。それでも簡素化は推奨してますので、第2590地区（神奈川県）では1日だけ懇親会無し。第2510地区（北海道）では、広大な地区なので、初日午後2時から始まり、次の日正午には解散との事でした。どの地区も経費には苦勞しており、節約しようとして、返って経費が膨らんでしまったというケース



もあり、ガバナーは登山と同じで、引き返す勇気が必要と思いました。

まる2日間の研修を終え、エレクトの皆さんと親しくなることが出来ました。また、ロータリーの奥深さ、面白みなどを体験できたましたが、自分の体力の無さもつくづく感じました。果たして自分の体力が持つか、この後の国際協議会がとことん怖くなっています。



ガバナー公式訪問報告書

横手ロータリークラブ

9月3日(水)

横手ロータリークラブ
幹事 小 原 恒 彦

9月3日(水) 桑山明久ガバナー、柴田為英ガバナー補佐、佐藤秀典地区副幹事をお迎えしガバナー公式訪問が開催いたしました。

例会開催前に会長・幹事の面談では当クラブの計画書・報告書について桑山ガバナー、柴田ガバナー補佐より感想をいただきました。当クラブにおいては歴史が長く、会員も比較的多いクラブであり、地区委員にも多くの会員を輩出している点を評価していただきました。また、当クラブでの同好会の取り組みについても会員全員がロータリーを楽しんでいるとお褒めの言葉も頂戴しました。このような取り組みを行う際には是非ロータリー以外の方にも参加してもらい活動の輪を広げる事で、ロータリーの会員増強に繋がってもらえればとのアドバイスもいただきました。またそれ以外にも意見交換の時間を長くとっていただき、大変貴重な面談となりましたことに改めて御礼申し上げます。



例会では、ウィットに富んだ桑山ガバナー自身のお話を交えながら、ロータリーの事について分かりやすくご講和を頂戴しました。特に印象に残ったのが RLIの参加の意義について熱く話をされ、RLI研修に参加する事でよりロータリーへの理解が深まると同時にこれからのロータリーの活動も有意義になるので是非参加をしてほしいとのご要望もあり、当クラブも RLI委員を2名輩出しておりますので積極的に RLI研修の参加を促進していきたいと存じます。最後に桑山ガバナー、柴田ガバナー補佐、佐藤地区副幹事には、大変ご多忙な中当クラブにご来訪いただき心より感謝申し上げます。



花輪ロータリークラブ

9月4日(木)

花輪ロータリークラブ

会長 高橋 健一

1、「当日のタイムテーブル」

13:30 ホテル鹿角で合流！

桑山 G・藤盛 GH・高橋 3 名で十和田湖見学。

14:30 道の駅 和井内見学。

14:45 十和田湖にてティータイム！

16:00 例会会場（ホテル茅茹荘）にチェックイン！

16:30 花輪ロータリーとのミーティング（4 名）

出席者：桑山 G・藤盛 GH・高橋会長・石鳥谷幹事

花輪ロータリーの今年度の活動計画書をもとに。御指導・アドバイスを頂く。

18:00 ガバナー公式訪問交流会（2 名 +11 名 =13 名）

桑山 G よりメッセージを頂く。（30 分位）

20:00 手に手で終了！

2、桑山ガバナーミーティングの内容

① 7 つのガバナー方針を載せているのが良かった。

②「3Y EAR_Goals」の考えのもと 3 年間の目標を設定している事が素晴らしい。

③地区大会（10/25・26）多数の参加を！

④地区補助金 331,344 円決定。12/13（土）ポケモンイベントを成功させて下さい。

⑤会員増強（3 年計画で 1 名ずつ）あまり言いたくはないが、ロータリーの仲間を増やしましょう！



秋田中央ロータリークラブ

9月5日(金)

秋田中央ロータリークラブ
幹事 神田 徳 行

2025年9月5日 ホテルメトロポリタン秋田にて、ガバナー公式訪問が行われました。桑山ガバナーと木元ガバナー補佐がお越しくださいました。

当クラブからは、佐々木会長、神田幹事が出席しまして、面談が行われました。面談の中で佐々木会長より、今年度の等クラブの活動報告をしたなかで、特に全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会 秋田県大会支援 感恩講児童保育園・聖園天使園へ栄養補助寄付の奉仕活動について、桑山ガバナーより今後も是非続けてほしいとの言葉をいただき、等クラブでももっと強固な物にしなければと痛感いたしました。

桑山ガバナーより、目標として特に3つの事をお話されました。

1. RLI の参加者を増やします

ロータリーを学べる場である事をロータリアンに知ってもらう。

2. ロータリー平和センターを支援しましょう

平和センターの活動を支援するため、各クラブの自発的な寄付

3. 2233地区（ウクライナ国）と日本国内地区とで締結される ICC 国際共同委員会に参加

ICC は RI 公認の団体であり、ICC 事務局を通してグローバル補助金の申請がしやすい利点があり、医療機械の進呈が予定されています。

上記のお話をふまえて、当クラブも真剣に取り組みより良いクラブ活動に邁進していきたいと思っています。



秋田西ロータリークラブ

9月9日(火)

秋田西ロータリークラブ

会長 斉 藤 光 弘

9月9日(火) 桑山明久ガバナー、木元慎一中区ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が実施されました。

会長、幹事の面談は、当クラブの現在の状況を説明致し、桑山ガバナー、木元ガバナー補佐から感想並びにご指導を賜りました。

会員増強について、目標通りの人数の増強になった事への評価を頂き、今後のさらなる増強に弾みがついたほか、今年度のクラブ運営の方向性等のご指導を頂くなど、大変参考になり、有意義な面談となりました。

引き続きの夜例会に、お二人とも参加頂き、桑山ガバナーから地区方針を中心としたご講話をして頂きました。その中で、10月19日開催の「地区ポリオイベント」の意義をお伺いして、会員一同ポリオ絶滅の意識を新たに致しました。さらに10月25日～26日の地区大会のご説明も頂き、大会が多数のロータリアンの出席のもとで、盛会に開催されることを祈念致すところです。

最後に、夜例会とあって、お二人と盃を酌み交わし、終始和やかな時間が流れた事をご報告致します。



秋田南ロータリークラブ

9月11日(木)

秋田南ロータリークラブ
会長 塚田 貢 才

9月11日(木) 桑山明久ガバナー、木元慎一ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち行われた会長幹事面談では、当クラブの現状報告に基づいて意見交換を行い、大変貴重なご助言をいただきました。また、インターアクトクラブの現況についてもお話があり、若い世代の活動の場や交流を推進していくことの必要性を感じました。

例会では、当クラブの特色である「全員握手」にご参加いただき、クラブの絆の輪を体感していただきました。またご講話では、ガバナーを引き受けるに至った経緯やガバナー活動の楽しさ、また現在のガバナーノミニー選出の状況等についてお話をいただきました。桑山ガバナーの優しくユーモアあふれるお人柄が表れるとても和やかな例会となりましたが、お話から学ぶことはとても多く、今後の活動に活かしてまいりたいと思います。

最後に、10月25日より開催されます地区大会のご盛会をお祈り申し上げ、今回のご訪問のお礼に代えさせていただきます。



矢島ロータリークラブ

9月16日(火)

矢島ロータリークラブ

会長 藤原 和信 直前会長 佐藤 成孝

2025-26ガバナー公式訪問は、矢島福祉会館においてガバナー桑山明久様、ガバナー随行者の奥山俊浄様をお迎えして開催されました。当クラブからは、会長 藤原和信、直前会長 佐藤成孝の2名で面談をいたしました。面談では、ガバナーから次の指導・助言を頂きました。

会員増強活動として、RCを理解して頂くため、夜例会に招待し親睦を図るなど様々な創意工夫しながら、引き続き会員増強活動に努めて頂きたい。当クラブは、地区の各クラブ2名増強方針に基づき、昨年度1名、本年度は家族会員1名を確保できましたが、引き続き会員増強に努めてまいります。

また、RC 事務効率化のため、由利本荘5 RC 事務局の一元化の検討については、当クラブとしても事務の効率化と経費の節減に繋がるのであれば、賛同したい旨をお伝えしました。

桑山ガバナー（医師）の専門分野であるポリオについて語られ、完全に撲滅出来るまで続けなければ効果がなく、拡大を阻止しポリオ撲滅することの必要性を語られた。世界の一部地域では撲滅できておらず、殆ど発症が無い日本でも予防のためワクチン接種に多額の費用を費やしている。撲滅することにより、この経費を他の医療費に役立てることが出来、多くの人が救われることへ繋がると語られた。このような情報を提供していただき、ポリオ撲滅の必要性を改めて知ることが出来ました。桑山ガバナーありがとうございました。



湯沢ロータリークラブ

9月25日(木)

湯沢ロータリークラブ
会長 柴田 直人

9月25日(木) 湯沢ロータリークラブ例会場である湯沢グランドホテルに於いて、ガバナー公式訪問が行われました。

当日は桑山ガバナーの他に南区ガバナー補佐の柴田為英様、本荘ロータリークラブ飯塚雅子様にメークいただきました。

例会前に行われました会長幹事面談では、湯沢ロータリークラブの会員の状況、そしてクラブが取り組んでいる奉仕活動を報告させていただきました。

その中で、当クラブが長年継続している高校生への奨学金に対し、特にガバナーが興味を持ってもらったような印象でした。

例会での講演では、RI会長が直前に変わったこと、今年度の地区目標と方針、地区内の会員の推移、そしてクラブ行動計画の重要性をお話いただきました。

クラブ内でディスカッションをし、3年計画を作成します。その計画に沿って会員増強できるように取り組んでいきたいと思えます。

当クラブは来年度70周年の節目を迎えます。会員一丸となって周年事業成功に向けがんばっております。今後ともよろしくお願い致します。



大館中央ロータリークラブ

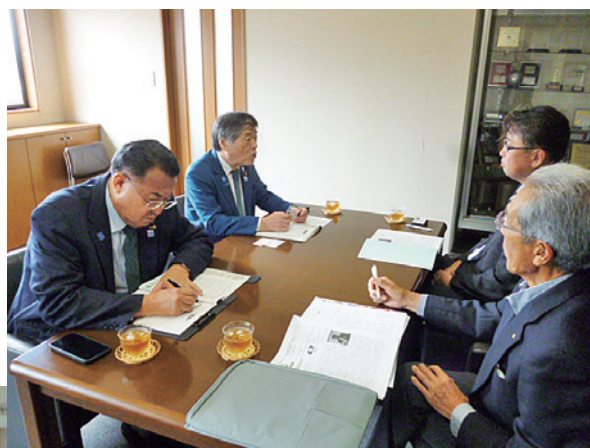
9月29日(月)

大館中央ロータリークラブ
会長 丸山佳孝

9月29日、桑山ガバナー、藤盛ガバナー補佐をお迎えし、地区ガバナー公式訪問が行われた。クラブ運営の現状として、健全な資金運営が課題であること、継続奉仕活動として比内支援学校への図書寄贈やリトルシニア支援、自然の会への寄付を継続していることを報告した。会員増強については、純増により会員数が20名を超えれば安定運営が見込めると述べた。例会会場や委託事務局契約が終了した後は、会員の会社会議室を会場に活用し、委託先事務員を正



社員として迎え入れ、事務を継続している対応に対し、ガバナーからは「地区表彰に値する行動」との評価をいただいた。現在は周年行事費用を取り崩して運営しており、7年後には積立が尽きる見通しであり、会員と共に議論を重ねて最善策を見出すこととしています。会長方針については、RI 会長メッセージと地区ガバナーの呼びかけ「ロータリーを学ぼう」を踏まえ、自らの活動に即した説明がなされていると高く評価していただいた。



新 会 員 紹 介

NEW MEMBER INTRODUCTION

大曲南ロータリークラブ

武 田 卓 哉 (たけだ たくや)

入会月日
勤 務 先
役 職
職業分類
紹 介 者
ひとこと

10月1日

はりま建設株式会社

代表取締役

総合建設業



本年9月にグループ社員
総勢130名余りの企業の
社長に就任し、その重責を感じている昨今です。
ロータリーを学び、人間力を高められればと思
料しております。
何卒宜しく願いいいたします。



パストガバナーメッセージ

「ガバナー、パストガバナー となって」思う事

淡 路 徹

「豪雨、地震、RI 地区編成」と記憶された年度。地区内外のロータリアンから多大な友情と支援を賜った。ガバナーという機会を頂いたことに感謝し、人生で初めて貴重な経験をさせて頂いた。

役職は人を創るという。ロータリー章典に19.010ガバナーの任務と責務。19.060.1PDGの役割を記している。

ガバナーは「地区運営に責任ある言動と行動」「会員の奉仕で成っている組織と常に心に留めた活動」に努め、PDGはGを支える。この事を理解し支えてくれた地区幹事はじめ地区役員、全クラブそして多くのPDG、同期ガバナー仲間にも感謝している。

「地区の代表」を嫌が上にも意識し、振る舞い言動に心掛けなければならない場面は、GNTSやGETS研修、ガバナー会、国際協議会であった。どこでも2500地区をトップに2840までの34地区が順番に着席する。左手に2530（福島）、右隣に2550（栃木）と着席する。なぜRI2540地区が秋田なのか？詳しく語れないが、その始まりは1920（大正9）東京RC創立までさかのぼる。戦後1952（昭27）RI60地区に秋田RC設立後RI350,352,354,254と地区名が変わり1994年秋田地区が単独RI2540地区となった。

各RCがスポンサーRCに支えられていると同様に、地区も東京RCから細胞分裂するが如く、他地区スポンサークラブに支えられている。この永々と続く密接な34地区のつながりは、GN,GE,G時の十数回の研修、会議で色んなテーマについて地区として考えを発表。各々の個性、特徴、専門的才能を互いに認め合い、その多角的な視点に気付かされ回を重ねるごとに地区の絆が強くなった。

又、パートナーは、ほとんどロータリアンではない。しかしGNTSやGETSのパートナー研修に参加、ガバナーパートナーも多業種、多年代、多才な方々で交流を深めるたびに、仲よしが増え情報量も格段に多くなったと感じている。ロータリーは、新たな友を生み出す事を間近に見て驚きを感じる。60、70才の手習いではないが、最近課題解決を求められる時「地区を守り、地区を越える絆」が知恵を呼びその糸口を持っていると感じている。まとめに「ガバナー、パストガバナーとなって」の機会を頂いた事に感謝します。ありがとうございます。

週報・会報クラブ発行状況 9月(10/31現在)

- 週報・会報を発行されました、ガバナー事務所までお知らせください。
- HPに掲載するとともに、折につけてガバナー月信に抜粋して掲載させていただきます。

所属RC	合計発行数
花 輪	2
鷹 巣	1
十和田秋田	2
五 城 目	3
潟 上	4
秋 田 南	3
秋 田 西	1

所属RC	合計発行数
大 曲 南	4
大 曲 中 央	3
大 曲 仙 北	4
湯 沢	4
横 手 南	4
横 手 東	4

国際ロータリー第 2540 地区

週報 かがみ

瀬上ロータリークラブ

2025-26 第 9 号

会長 佐々木 徹

第 2768 例会

2025/9/9

「ブルーメッセあきた」情報研修室

◇13:00 点鐘

◇ロータリーソング 「我らの生業」

◇米山奨学生フォンさんへ奨学金の贈呈

◇会長の時間

石破さんにすごい期待をしておりましたがこの後どうなるでしょう。日本だけではなくませんがリーダーの存在、人をまとめる力が問われているんだろなあ、と思っております。日本の国が大きく変わる時なのかもしれないと勝手に思っているところでした。

先週は天気の良い日もあり参加者が少なく、会場がレストラン2階ということもあり、第1例会にもかかわらずロータリーソングもなく、なんとなく寂しい例会だった気がします。そんな中、配られたロータリーの友に地葉さんの記事が掲載されておりますので後で皆さんゆっくりと見てみて下さい。ロータリーソングについてちょっと気になって調べてみました。発祥は記事によると1907年シカゴのロータリークラブで歌を歌うのが始まったと。当時、ロータリーは親睦か奉仕について大論争があったそうで、クラブ崩壊の危機まで陥ったときハリハグラスという方が「諸君、歌を歌おうではないか。」という呼びかけで、例会で歌を歌うようになったそうです。当時は地域の民謡だったり歌謡曲だったり歌っていたそうです。日本では1935年、京都の地区大会の記念として歌を公募したそうです。その中で4つの作品が選ばれ、1位は「旅は道連れ世は情け」といったような歌詞の歌が選ばれたのですが盗作とわかりボツになったそうです。2位だったのが「奉仕の理想」でこれが繰り上げ1位になり採用されたそうです。3位は、歌詞については今のロータリーにはぴったりの歌詞だったようなのですが、軍国主義の時代だった当時には合わなかったそうです。そして4位が今日歌った「我らの生業」で、こちらも繰り上げ2位で採用され、以来「奉仕の理想」と「我らの生業」が歌い継がれてきたということだそうです。

親睦と奉仕の大論争については、この2つは表裏一体の関係なのでこれを調和することでロータリーは発展するんだ、と載っております。

◇幹事からの報告・連絡等

・参加して良かったボリオ根絶運動」エピソードを募集中です。詳しくはロータリーの友裏表紙をご覧ください。

◇米山奨学生フォンさんスピーチ

今日はベトナムと日本の四季と生活の違いについて話したいと思います。皆さんはベトナムは毎日暑いイメージがあると思いますが私の生まれたハノイは四季があり日本と同じで春夏秋冬があります。でも少し違うところがあり、夏はすごく暑くて湿気があります。冬は気温は下がりますが雪は降りません。春と秋はとても短いです。次に日本の季節のイメージですが春は雪が融けて桜が咲いて花見の楽しみがあります。入学式とか新しい生活が始まる感じがします。きれいな桜を見て「また1年が始まるな」と思ったりします。夏はベトナムよりは短いですが花火大会や夏祭りとかがありとても賑やかに感じています。私も男鹿の花火大会に行ってきました。とてもきれいでした。秋は紅葉がとても美しく、また果物やお米など収穫の時期で、私は食べるのが大好きなのでたくさん食べてしまいます。冬は秋田は雪がたくさん降ります。ベトナムは雪が降らないので雪を見るのはドラマか映画などでしか見られませんが、秋田にきて初めて雪を見てとても感動しました。でも今となってはとても大変だと思ったりします。次に生活についてですが、ハノイは季節が変わっても生活の習慣は変わりません。着るものが少し変わるくらいです。夏は冷たい飲み物を飲んだり、あと果物を食べたりします。ベトナムは夏にたくさん果物が採れます。冬は少しだけ厚着になります。日本は、特に秋田の冬は寒くて着る服とか滑らない靴とかの準備が必要で少し大変です。ベトナムは食べるものはあまり変わりませんが、日本は季節によって料理の楽しみを工夫したりします。例えば夏は冷たい麺料理とか、冬は暖かい鍋料理とか。とても美味しいです。食べるのが好きなのでいつも食べる話ですね。

秋田で生活してたくさん貴重な経験と成長の機会を感じています。これからも四季を楽しんで勉強と生活と続けていきたいです。

◇クラブ活性化ミーティング 一関リーダー

・現在オープン例会を計画中。進捗がありましたらまた報告します。
・facebookでの発信を澤井公共イメージ広報委員長に頑張ってもらっています。会員の皆さまもフォロー、いいね！で盛り上げていきましょう。

◇各委員会より

・熊谷直前幹事…2024-2025年度地区表彰について（当クラブ関連）

20年連続在籍…地葉 PG

週報努力クラブ…瀬上 RC

ロータリー財団寄付成績優秀ロータリアン…地葉 PG（\$20,000 達成）

米山記念奨学金寄付成績優秀クラブ…2位 瀬上 RC（19,933 円/会員）

国債奉仕プロジェクト基金寄付優秀クラブ…4位 瀬上 RC（3,030 円/会員）

米山功労クラブ…瀬上 RC（1回） 累計寄付額 1,034,279 円（100 万円毎）

米山功労者メジャードナー…地葉 PG（10回）（100 万円以上 10 万円毎）

・一関直前会長…天王みどり学園、学園祭への出欠について。

※現時点で5名出席。引き続き募集しますので参加できる方は幹事までご連絡ください。

◇ニコニコ 本日2件 累計34,000円

・地葉 PG …ロータリーの友 P22 に希望の風奨学金の記事を掲載いただきました。
・佐々木松彦会員…結婚記念のお花がとうございました。

ニコニコありがとうございます！！

◇例会 100 円募金

本日 1,797 円 累計 9,897 円

◇今後のスケジュール

10月18日 天王みどり学園 学園祭

10月19日 ボリオデーイベント

10月25日 地区大会

10月26日 地区大会

◇フォトギャラリー



会長の時間



奨学金贈呈



会場の様子



今日の例会メシ。ヘルシー

事務局：秋田県瀬上市昭和豊川竜毛字山下ノ下1-1 昭和総合開発株式会社 内
（ブルーメッセあきた 道の駅しょうわ）

幹事：三浦 将人 E-mail masa3no@hotmail.co.jp

国際ロータリークラブ
第2540地区
(秋田県) rotaryintationsi Distinct
2540
AKITA JAPAN
\$\$ロータリーレート\$\$
2025年 9月: 149円/USD



会 長 泉谷 昭一
幹 事 田口 憲寿
例会日
12:30~13:30 (毎週月曜日)
18:30~20:30 (第3月曜日夜間)
例会場 大曲プラザたつみ
事務所 大曲大町通8-15
TEL 018-63-0537
FAX 018-63-0660

第2540地区 大曲仙北ロータリークラブ週報

■第1454回 夜 間 例 会 2025・9・29

本日の出席	会員数	12
	出席対象会員数	12 名
	出席者数	8 名
	出席率	66.7 %
	メイク	枚
	出席率	%



- 開会点鐘
- ロータリーソング斉唱
- 開会宣言
- 四つのテスト
- お客様のご紹介
- 会長の時間
- 幹事報告
- ニコニコ発表

・伊岡森久美子理事

・田口憲寿幹事



出席会員

- ・泉谷昭一会長
- ・佐藤豪会長エレクト
- ・花澤直樹理事
- ・ロダリン・ヨン
- ・田口憲寿幹事
- ・佐々木セツ子会計
- ・伊岡森久美子理事
- ・伊藤佐代子

幹事報告

☆ ガバナー事務所より

日程 10月19日(日)
場所 秋田駅前アグラ広場
内容 ポリオ撲滅啓発活動として秋田県警音楽隊を先頭にしたパレード、募金活動

タイムスケジュール

9:30 アグラ広場集合(ポリオののぼりを目印)
10:00~11:30頃開会式・パレード・募金活動・開会式
13:00~14:00 講演会 会場「ABS秋田放送 1F」

☆ 今月のお誕生日と結婚記念日

お誕生 草薙 渉会員 S47. 9 . 8

地区大会

☆ 第2540地区2025- 26年度地区大会

日程 10月25日- 26日
場所 ホテルアイリス・カダーレ
10月25日(土)
出席者 泉谷昭一会長

大会2日目 10月25日(日)

『由利本荘市文化交流館カターレ』
ロータリアン全員

出席者 泉谷会長・佐藤豪・花澤直樹前会長・佐々木セツ子会計・伊岡森久美子理事・ロダリン・ヨン会員・伊藤佐代子

9:00 登録開始

9:30 本会議Ⅰ

11:20 本会議Ⅱ

15:45 記念講演

17:30 懇親会「ホテルアイリス」

19:00 閉会

追伸 26日はバスで送迎ですー人2000円

表彰

- ・国際奉仕プロジェクト基金優秀クラブ
1位象潟RC 2位能代白神RC 3位大曲仙北RC
- ・在籍記念30年ロータリアン(佐々木セツ子会員)
- ・週報協カクラブ(クラブ)
- ・ロータリー財団寄付認証者
- ・(累計\$1,000以上 泉谷 昭一)



2025年8月会員数の増減

分区		クラブ名	会 員 数				増減
			2025年 7月1日(A)	2025年 8月末(B)	うち 女性	うち 40歳未満	増減数 (B)-(A)
北 区	大館・鹿角	大 館	35	37	2	0	2
		花 輪	20	20	0	0	0
		鷹 巣	7	7	1	0	0
		大 館 北	14	15	3	1	1
		十和田秋田	27	26	1	1	-1
		大 館 南	31	31	0	1	0
		大 館 中 央	15	15	1	0	0
	能代・男鹿	能 代	47	53	9	1	6
		男 鹿	8	9	3		2
		二 ツ 井	5	5			0
		五 城 目	12	12	0	0	0
		潟 上	28	28	0	0	0
		男 鹿 北	10	10	0		0
		山 本	12	12	0	1	0
能 代 白 神		14	14	6	0	0	
中 区	秋 田	秋 田	112	112	5	3	0
		秋 田 東	83	83	4	2	0
		秋 田 港	41	40	8	0	-1
		秋 田 北	53	56	4	1	3
		秋 田 南	42	41	3	0	-1
		秋 田 中 央	41	41	5	0	0
		秋 田 西	21	21	3	2	0
	本荘・由利	本 荘	36	35	1		-1
		矢 島	7	8	1	0	1
		象 潟	9	9	1	0	0
		本 荘 東	20	20	3	0	0
		本 荘 南	6	6	2	0	0
南 区	大曲・仙北	大 曲	53	53	4	2	0
		角 館	13	14	3	1	1
		大 曲 南	15	15	2	0	0
		大 曲 中 央	11	11	6	0	0
		田 沢 湖	20	20	1	1	0
		大 曲 仙 北	12	12	6	1	0
	横手・湯沢	湯 沢	70	70	2	4	0
		横 手	53	51	2		-2
		横 手 南	69	69	0		0
		西 馬 音 内	15	11			-4
		湯 沢 南	21	21	1	2	0
		稲 川	15	15	3	1	0
横 手 東		12	13	0	0	1	
合 計		1,135	1,141	96	25	7	

① 未提出のクラブ（黄色マーカー）はマイロータリー参照

② 40歳未満の会員数は未記入のクラブが多いため回答があったクラブのみの集計